

〔麦 類〕

1. 作付の概況

九州地域における平成27年産の麦類の作付面積は56,000ha で、前年と比べて800ha増加した。麦種別では、小麦が33,300ha、二条大麦が20,800ha、裸麦が1,850ha、六条大麦が11haで、前年に比べて小麦は300ha増加、二条大麦は500ha増加、裸麦は70ha減少、六条大麦は3ha増加した。全国の作付面積に占める九州地域の割合は、小麦が15.6%、二条大麦が54.9%、裸麦が35.6%、六条大麦が0.06%であった。県別では、小麦は佐賀、長崎、熊本、大分の各県で増加した。二条大麦は、福岡、熊本、大分、宮崎、鹿児島各県で増加した。裸麦は、長崎と熊本を除く各県で減少した。六条大麦は作付面積は少ないが大分県で増加した。

2. 生育概況

播種後気温はやや高く適度な降雨により出芽は良好で、その後の生育も順調であった。1月から2月の気温は平年並みであったが、3月中旬以降気温は高めに推移し、穂数が少なく、稈長が長く、出穂が早まった。4月に降雨が多く、その後気温も高めであったため成熟期は更に早まり、容積重、千粒重が低下し、平年より低収となった。4月上旬と5月中旬に降水量が多く、気温が高めに推移したことにより赤かび病、赤さび病が多発した。5月の台風により倒伏が多発した。平年より3日早い6月2日に九州北部地域は梅雨入りしたが、成熟が早かったため収穫は順調であった。しかし、枯れ熟れ気味だったためか外観品質は劣った。

3. 作柄の概況

九州全体の10a当たり平均収量（過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均）対比は、小麦で90、二条大麦で84、裸麦で77で、すべての麦酒種で平均収量を下回り、二条大麦は7年連続で平均収量を下回った。また、各県の10a当たり平均収量対比は、小麦は宮崎の43が最も低く43～94（沖縄を除く）、二条大麦は大分県の67が最も低く67～96、裸麦は31～90であった。県別で作付面積が1000haを超える麦種では、小麦、二条大麦、裸麦いずれも大分県の作柄が不良で70前後であった。

（九州沖縄農業研究センター 水田作研究領域 上席研究員 中村和弘）

平成27年産麦類の作付面積と収穫量

(麦種) 地域・県	作付面積	10a 当たり 収量	収穫量	前年産との比較						(参考) 10a当たり 平均収量 対
				作付面積		10a 当たり 収量		収穫量		
				対差	対比	対比	対比	対差	対比	
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	
(小麦)										
全九州	213 100	467	996 200	500	100	116	143 800	117	126	
福岡	33 300	287	95 700	300	101	80	△ 22,000	81	90	
福岡	15 200	304	46 200	0	100	80	△ 11,400	80	89	
佐賀	9 850	302	29 700	160	102	85	△ 4,700	86	93	
長崎	663	246	1 630	27	104	88	△ 150	92	94	
熊本	4 900	276	13 500	80	102	82	△ 2,700	83	94	
大分	2 560	177	4 530	40	102	61	△ 2,780	62	70	
宮崎	95	102	97	△ 2	98	35	△ 187	34	43	
鹿児島	42	134	56	△ 7	86	74	△ 33	63	70	
沖縄	13	177	23	△ 10	57	82	△ 26	47	100	
(二条大麦)										
全九州	37 900	298	113 000	300	101	103	4 800	104	95	
九州	20 800	247	51 400	500	102	80	△ 11 500	82	84	
福岡	6 070	235	14 300	300	105	73	△ 4 300	77	80	
佐賀	10 500	264	27 700	0	100	83	△ 5 800	83	85	
長崎	1 110	264	2 930	△ 10	99	96	△ 140	95	96	
熊本	1 730	247	4 270	120	107	83	△ 530	89	94	
大分	1 150	159	1 830	40	104	69	△ 710	72	67	
宮崎	71	194	138	19	137	63	△ 23	86	83	
鹿児島	149	158	235	22	117	73	△ 38	86	72	
(裸麦)										
全九州	5 200	215	11 200	△ 50	99	78	△ 3 300	77	80	
九州	1 850	199	3 680	△ 70	96	71	△ 1 680	69	77	
福岡	445	239	1 060	△ 14	97	80	△ 310	77	80	
佐賀	189	256	484	△ 4	98	71	△ 211	70	86	
長崎	88	160	141	7	109	70	△ 44	76	83	
熊本	73	144	105	14	124	60	△ 36	74	75	
大分	1 040	180	1 870	△ 70	94	68	△ 1 070	64	73	
宮崎	6	68	4	△ 1	86	33	△ 11	27	31	
鹿児島	8	132	11	1	114	72	△ 2	85	90	
(六条大麦)										
全九州	18 200	290	52 700	900	105	107	5 700	112	101	
九州	x	307	x	x	x	100	x	x	86	
大分	11	309	34	3	138	95	8	131	88	

注：1)「(参考)10a当たり平均収量対比」とは、10a当たり平均収量(過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値)に対する当年産の10a当たり収量の比率である。

2)△は減少、×は非公表を示す。

3)資料は平成27年11月17日農林水産省公表の「平成27年産4麦の収穫量」による。

4)統計数値については、四捨五入により合計値と内訳の計が一致しない場合がある。